

別記様式第 2 号

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計
農 業 経 営 統 計



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 営農類型別経営統計調査票

(個人経営体用 (基本調査))

☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。
☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

1. ____年1月1日～ ____年12月31日の1年間について記入してください。
2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

Blank area for contact information.

営農類型						
2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっており、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので該当する科目の記入欄へ転記してください。
- 営農の種類（畑作、酪農等）や農業以外に事業を行っているかどうかにより、記入する欄が異なる場合があります。

○ 調査票の構成

区 分	説 明	対応ページ
【1】現況（共通項目）	青色申告の申請状況、農業従事者の状況等について記入してください。	2
【2】損益計算書	農業の収入や支出の状況について転記してください。	3、4
【3】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について転記してください。	5
【4】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	5
【5】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	農畜産物の生産概況と販売収入、また農作業受託収入について記入してください。	6～9
【6】制度受取金・積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	10、11
【7】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	12

《農業生産関連事業とは》

農業生産関連事業は、次に当てはまる農業以外の事業をいいます。
ただし、これらの事業活動が経営を別として営まれている場合には、記入する必要はありません。

区 分	説 明
農 産 加 工	・自家で生産した原材料を用いた農産加工品を、自家で販売している事業をいいます。 なお、自家で加工を行うものであっても最終的な商品として販売しない物（荒茶、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業に含めてください。
観 光 農 園	・自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。
貸 し 農 園	・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。
農 家 民 宿	・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。
農 家 レ ス ト ラ ン	・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。
そ の 他	・上記以外の農業生産関連事業をいいます（例：耕地を利用した太陽光発電）。

それでは、次の「【1】現況（共通項目）」から記入してください。

【1】現況（共通項目）

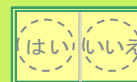
認定農業者がいる	はい	いいえ	「はい」の方は、右の設問にも記入してください。	農業研修生	人数（人）
農業研修生の受け入れがある	はい	いいえ		外国人技能実習生	
経営主	性別	男	女	日本人研修生	
	年齢 期末（12月31日）時点				

【2】損益計算書

- 1 農業収支について、青色申告決算書（農業所得用）などを参照し、記入してください（収支内訳書（農業所得用）は、該当する科目の記入欄へ記入してください。）。

科 目		青色 申告 決算書 No	収支 内訳書 No	説 明	金 額 (円)	
収 入 金 額	販 売 金 額	①	①	農畜産物の販売額	億 万 千 百 十	
	家事消費金額・ 事業消費金額	②	②	家計で消費した金額、農業以外の事 業で消費した金額		
	雑 収 入	③	③	作業受託、経営所得安定対策交付 金、価格補填金、受取共済金		
	小 計	④	④	販売金額、家事消費・事業消費金 額、雑収入の合計		
	農産物の 棚卸高	期 首	⑤	⑤	農産物の期首棚卸高	
		期 末	⑥	⑥	農産物の期末棚卸高（年内に精算さ れ、精算できていない生産物を評価）	
	収 入 計	⑦	⑦	収入の合計（④－⑤＋⑥）		
経 費	租 税 公 課	⑧	㊦	農業に係る固定資産税、印紙税、組 合・部会費、支払消費税		
	種 苗 費	⑨	㊧	種子、苗の購入費		
	素 畜 費	⑩	㊨	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、 種付料、登録料		
	肥 料 費	⑪	㊩	肥料の購入費		
	飼 料 費	⑫	㊰	飼料の購入費		
	農 具 費	⑬	㊱	取得価額が10万円未満の農業機械、 農具等		
	農薬費・衛生費	⑭	㊲	農薬・家畜薬品等の購入費、共同防 除の負担金		
	諸 材 料 費	⑮	㊳	生産に要したビニール、縄、おがく ず等の購入費		
修 繕 費	⑯	㊴	農業機械、車両、建物等の修理費			
動 力 光 熱 費	⑰	㊵	水道料、電気料、燃油代金			

※ 飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金分を
除いていますか。



〔 配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している場合は「はい」
を、収入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。 〕

- 2 貸倒引当金及び専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）の損益計算書の
繰入額等欄などから転記してください。

科 目	青色 申告 決算書 No	収支 内訳書 No	説 明	金 額 (円)
貸 倒 引 当 金	④②-④③	①①	（繰入額－繰戻額）の金額	億 万 千 百 十
専 従 者 給 与	④④	①⑥	専従者給与（繰入額）の金額	

【2】損益計算書（続き）

科 目		青色 申告 決算書 No	収支 内訳書 No	説 明	金 額（円）			
					億	万	千	十
経 費 （ 続 き ）	作業用衣料費	⑱	㊀	農作業に必要な衣類・靴・帽子等の購入費				
	農業共済掛金	⑲	㊁	共済掛金、農用車両の保険料・共済掛金				
	減価償却費	⑳	㊂	農用建物、構築物、農機具、生物等固定資産の減価償却費				
	荷造運賃手数料	㉑	㊃	販売に要したダンボール等の資材代金、運賃、検査料等				
	雇 人 費	㉒	㊄	雇用労賃及び賄い費・交通費				
	利子割引料	㉓	㊅	借入金利息、手形割引料、債務保証料				
	地代・賃借料	㉔	㊆	農地代、農用建物代金、農機具等の使用代金、ライスセンター・共同選果場の料金				
	土地改良費	㉕	㊇	客土・揚排水施設等の維持管理費				
	雑 費	㉖	㊈	上記以外の事務費等一般管理費を含む。				
	小 計	㉗	—	上記租税公課～雑費までの経費の合計				
農産物 以外の 棚卸高	期 首	㉘	㊉	農産物以外の期首棚卸高				
	期 末	㉙	㊊	農産物以外の期末棚卸高				
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用		㉚	㊋	未成熟果樹、育成牛等の育成に要した費用				
経 費 合 計		㉛	㊌	㉗ + ㉘ - ㉙ - ㉚				

【3】事業収支の概要

- 1 事業収支について、所得税の確定申告書Bを参照して、次の科目の金額を転記してください。

科 目		申告書 記号	説 明	金 額 (円)				
収 入 金 額	事 業 等	ア	卸売業、製造業、小売業、林業、漁業など 農業以外の事業の収入	億	万	千	百	十
	農 業	イ	農業収入					
	不 動 産	ウ	不動産収入					
	収 入 金 額 計	—	ア+イ+ウ					
所 得 金 額	事 業 等	①	農業以外の事業の収入から、その事業に投 じた費用を差し引いた金額					
	農 業	②	農業収入から、農業に投じた費用を差し引 いた金額					
	不 動 産	③	不動産収入から不動産に投じた費用を差し 引いた金額					
	所 得 金 額 計	—	①+②+③					
経 費		—	収入金額計(ア+イ+ウ) - 所得金額計(①+②+③)					

- 2 山林の所得がある場合には、申告書（分離課税用）第三表を参照して、次の科目の金額を転記してください。

科 目	説 明	金 額 (円)				
		億	万	千	百	十
収 入 金 額 (山 林)	山林を売却、譲渡、伐採した際に生じた収入					
所 得 金 額 (山 林)	山林収入から伐採などに掛かった費用を差し引 いた金額					

【4】土地面積

期末（12月31日）時点の土地の状況を記入してください。

区 分	説 明	経営面積(a)					
		うち借入地面積					
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている 面積		ha	a		ha	a
畑（普通畑）	畑（樹園地、牧草地を除く）全体の面積と、このうち他 から借り入れている面積						
樹園地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れて いる面積						
牧草地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れて いる面積						
採草放牧地	採草放牧地の面積						

区 分	説 明	面積(a)	
貸付地（耕地）	他の経営体に貸し付けた耕地の面積（所有地分の み）		ha a

【5】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入

1年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額についてそれぞれ記入してください。

なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む。）」欄に含めてください。

また、1年間（決算期間）の農作業受託収入について記入してください。

1 農産物

品 目		説 明	生産概				
			作付延				
			田				
稲（食用）	水 稲	主 食 用 米	加工用米・新規需要米等以外の米				
		加 工 用 米					
		新 規 需 要 米 等	新規需要米（米粉用、新市場開拓用）及び備蓄米				
	陸 稲						
稲（飼料用）	飼 料 用 米	飼料用米（自給用含む。）					
	W C S 用 稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用含む。）					
稲 わ ら ・ む か 等		稲わら、むか等を販売したもの					
麦	類	小 麦	小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。				
		二 条 大 麦					
		六 条 大 麦					
		は だ か 麦					
		そ の 他 の 麦					
雑 穀	そ ば	そば穀も含む。					
	他 の 雑 穀 （ そ ば 以 外 ）	とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物					
豆 類	大 豆	乾燥子実。生（枝豆）は野菜					
	大 豆 以 外	小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実					
い も 類	か ん し ょ	種いも用、原料用かんしょも含む。					
	ば れ い し ょ	種いも用、原料用ばれいしょも含む。					
工 芸 農 作 物	て ん さ い	寒冷地作物として中、高緯度で栽培される甘味資源作物（ビート・トップを含む。）					
	さ と う き び	熱帯を中心に栽培される甘味資源作物					
	そ の 他 の 工 芸 農 作 物	なたね、い草、こんにゃくいも、葉たばこ等					
そ の 他 物	飼 料 用 作 物	飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物（自給用含む。）					
	そ の 他	芝、苗、苗木等（栽培きのご類を含む。）					

品 目	説 明	植 栽 面 積 (a)			
茶	数量は、荒茶で換算して記入してください。				
果 樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹				

品 目		説 明	作付延べ面積		販 売 金 額 (円)			
					億	万	千	百
野 菜	露 地	露地で生産した野菜		a				
	施 設	施設で生産した野菜		m ²				
花 き	露 地	切 り 花	露地で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		a			
		鉢 物			a			
	施 設	切 り 花	施設で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		m ²			
		鉢 物			m ²			

2 畜産物

品 目		説 明	生産概況 (事業消費含む。)			
			生産量 (kg)			
酪 農	生 乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの				
	搾 乳 牛	搾乳を行った牛				
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳用種・交雑種・受精卵移植牛、搾乳牛、乳廃牛				

品 目		説 明	飼養頭数 (月平均)				
肉 用 牛	繁殖牛 (子とり)	繁殖雌牛					
		自家生産和牛等	自家で生産した和牛又はF1クロス牛、繁殖用育成牛、廃用牛				
	肥育牛	肉専用種	肉専用種の牛				
		乳用種	乳用種の牛				
	交 雑 種	交雑種の牛 (F1クロス牛を含む。)					

品 目		説 明	飼養頭数 (月平均)			
養 豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚				
	肥 育 豚	肥育用の豚				
	肉 豚	肉用の豚、廃用した豚のうち販売した豚				
	子 豚	肥育用、繁殖用もと畜として販売した子豚				

品 目		説 明	飼養羽数 (月平均)			
採卵養鶏	採 卵 鶏	採卵用の鶏 (うずらは、その他畜産物に含める。)				
	鶏 卵	採卵用の鶏から生産される卵 (正常卵以外も販売したものは含む。)。また、販売金額には、廃鶏も含める。				

品 目		説 明	飼養羽数 (月平均)			
プロイラー養鶏	ブ ロ イ ラ ー	プロイラー、プロイラーの雛 (地鶏は含まない。)				

品 目		説 明	飼養羽数 (月平均)			
そ の 他	きゅう肥 (ふん尿)	きゅう肥として販売したもの (自給肥料としたものは含まない。)				
	そ の 他 畜 産 物	地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕など				

3 農作業受託収入

区分	作業内容	収入金額 (円)				
農作業受託収入		億	万	千	百	十

【通信欄】

1年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。
(例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。)

【6】制度受取金・積立金等

農業に関するもので、受け取った制度受取金、共済金等を「制度受取金等」欄に、支払った制度積立金、共済掛金等を「制度積立金等」欄に記入してください。

1 共通

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	万	千	百 十	億	万	千	百 十

2 稲、畑作物等関連

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	万	千	百 十	億	万	千	百 十

3 園芸作物関連

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	万	千	百 十	億	万	千	百 十

3 園芸作物関連（続き）

区 分	制度受取金等（円）				制度積立金等（円）					
	億	万	千	百	十	億	万	千	百	十

4 畜産関連

区 分	制度受取金等（円）				制度積立金等（円）					
	億	万	千	百	十	億	万	千	百	十

5 その他

区 分	制度受取金等（円）				制度積立金等（円）					
	億	万	千	百	十	億	万	千	百	十

【7】労働の概要

1年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別、労働時間について記入してください。なお、年齢は期末（12月31日）時点の年齢を記入してください。

常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者
臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者

(1) 家族・常用雇用者労働時間

区 分	性 別		年 齢	家 族・雇 用 の 別			農 業 労 働 時 間 (時間)	農 業 受 託 農 作 業 受 託 労 働 時 間 (時間)	農 業 生 産 関 連 事 業 関 連 時 間 (時間)
				家 族	常 用 雇 用 者				
					7 か 月 未 満 の 雇 用 者	7 か 月 以 上 の 雇 用 者			
1	2	3							
経 営 主	男	女	歳						
従 事 者 ①	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ②	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ③	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ④	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑤	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑥	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑦	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑧	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑨	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑩	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑪	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑫	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑬	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑭	男	女	歳	1	2	3			
従 事 者 ⑮	男	女	歳	1	2	3			

注： 事業に従事した者とは、農業や農業以外の事業（林業、アパート経営、その他）に従事した者をいいます。

(2) 臨時雇用者労働時間

区 分	人 数 (人)	農 業 労 働 時 間	農 業 受 託 農 作 業 受 託 労 働 時 間	農 業 生 産 関 連 事 業 関 連 時 間
		(時間)	(時間)	(時間)
男				
女				